



各報道機関文教担当記者 殿

10/10 東京・一橋講堂で開催

世界に誇る最先端の研究を紹介

この度、金沢大学では、本学が世界に誇る最先端の研究を紹介する「-Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー - 第8回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム」を東京・一橋講堂で開催します。

今回は、本学の理工研究域が誇る最先端の研究成果と今後の展望を紹介。「近未来社会づくりに挑む～ナノ世界から大宇宙まで」をテーマに、「自動運転自動車の開発」や「ブラックホール誕生の謎」などについて、研究者が分かりやすく話します。

金沢大学は大学憲章において「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を掲げており、本イベントは平成22年度から「本学が世界に誇る最先端の研究」を紹介するため毎年開催しています。

ついては、事前報道及び当日取材について、どうぞよろしくお願いたします。

入場無料・当日参加OK

-Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー -

第8回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム

日時 平成27年10月10日(土) 13:30～

場所 一橋講堂2F 中会議場(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

テーマ 「近未来社会づくりに挑む～ナノ世界から大宇宙まで」

※ 詳細は添付チラシまたは下記URLのとおり

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/info/detail.php?e=283>

本件照会先：金沢大学総務部総務課長 北村
Tel：076-264-5006

担当：金沢大学総務部広報室 寺口
Tel：076-264-5024

Features for the Future
フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー

第8回

金沢大学 未来開拓研究 公開シンポジウム

[テーマ]

近未来社会づくりに挑む
～ナノ世界から大宇宙まで～



平成27年

参加
無料

10月10日(土)
13:30~16:25

[場所] 一橋講堂2階 中会議場

東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

本学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を大学憲章に掲げ、地球規模で遭遇する現代社会の課題に立ち向かうべく、先進的・独創的な研究に係る国際的な研究拠点の形成を目指しています。

本シンポジウムでは、ナノメートル(1メートルの10億分の1)単位の世界から億光年単位の大宇宙まで、理工研究域が誇る最先端の研究成果と今後の展望について、分かりやすく紹介します。



TIME SCHEDULE	
13:00~	受付
13:30~	開会挨拶 金沢大学長 山崎 光悦
13:40~	講演 「タンパク質分子の動きを直接観る顕微鏡の開発」 [講師] 内橋 貴之 (理工研究域数物科学系・教授)
14:15~	講演 「脱石油・里山資源への挑戦」 [講師] 仁宮 一章 (新学術創成研究機構・准教授)
14:50~	休憩(15分)
15:05~	講演 「夢の自動運転自動車の開発」 [講師] 菅沼 直樹 (新学術創成研究機構・准教授)
15:40~	講演 「超小型衛星で調べるブラックホール誕生の謎」 [講師] 米徳 大輔 (理工研究域数物科学系・准教授)
16:15~	閉会挨拶 金沢大学理事・副学長 福森 義宏

第8回

金沢大学 未来開拓研究 公開シンポジウム

Features for the Future

フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー



[テーマ]

近未来社会づくりに挑む ～ナノ世界から大宇宙まで～

参加
無料

平成27年 **10月10日(土)** 13:30~16:25

[場所] 一橋講堂2階 中会議場
東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

13:40~

「タンパク質分子の動きを 直接観る顕微鏡の開発」

[講師] 内橋 貴之 (理工研究域数物科学系・教授)

私たちの生命活動を担うタンパク質の大きさはナノメートルレベルであり、細胞の中で忙しく動き回っています。私たちは、その様子を直接観ることができる顕微鏡を開発するため10年以上にわたって、日夜研究を続けてきました。その結果、いま、世界最高性能の他の追随を許さない顕微鏡の開発に成功し、Nature誌やScience誌にこれまでの常識を覆す研究成果を発表することができました。この講演では、溶液中でタンパク質の動きを観察するための顕微鏡と観察例を分かりやすく紹介し、その情報が新しい薬の開発などに繋がる事も紹介します。

14:15~

「脱石油・里山資源への挑戦」

[講師] 仁宮 一章 (新学術創成研究機構・准教授)

今の社会では、石油を原料にして、自動車燃料(ガソリンなど)や化成品(プラスチックなど)を大量に製造して、最後は焼却し、二酸化炭素として大気に排出しています。今回紹介するのは、太陽の光を基に里山が作り出す竹や雑木林の樹々を原料にして、自動車燃料や化成品を製造する取り組みです。この研究が実用化できれば、石油枯渇や二酸化炭素の削減に大きく寄与できると考えています。

15:05~

「夢の自動運転自動車の開発」

[講師] 菅沼 直樹 (新学術創成研究機構・准教授)

玄関を開けたら自動運転自動車に乗り、目的地を設定する。その後は運転手が操作をすることなく目的地まで自動的に安全に連れて行ってくれる。そんな夢の技術が現実近づいています。金沢大学では、国内で先駆的に市街地での自動運転を視野に入れた自動運転システムの開発を行っており、今年2月からは国内の大学としては初となる市街地の自動運転自動車による公道走行試験を開始しました。本講演では、この自動運転自動車の概要と公道走行の様子について紹介します。

15:40~

「超小型衛星で調べる ブラックホール誕生の謎」

[講師] 米徳 大輔 (理工研究域数物科学系・准教授)

宇宙物理学を研究するグループが協力して50kg級の超小型衛星を開発し、平成30年頃に打ち上げることを目標としています。100億光年も離れた宇宙で発生している「ガンマ線バースト」という爆発現象を観測して、ブラックホールが誕生する瞬間を調べます。小さな人工衛星で宇宙科学の重大トピックへ挑戦する、とても野心的な計画です。人工衛星をどのように開発するのかを交えながら、金沢大学衛星プロジェクトを紹介します。

参加申込

参加ご希望の方は、電話・FAX・電子メール・Webにてご氏名・ご連絡先をお知らせのうえ、お申し込み願います。*目的以外の利用及び第三者への提供はいたしません。

お申し込み・お問い合わせ先

金沢大学総務部総務課総務係 〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5010 e-mail ffk@adm.kanazawa-u.ac.jp
FAX 076-234-4010 URL http://www.kanazawa-u.ac.jp/

ACCESS MAP

学術総合センター
(一橋講堂2階 中会議場)
〒101-8439
東京都千代田区一ツ橋2-1-2
TEL: 03-4212-3900(代表)

- 東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄三田線、都営地下鉄新宿線 神保町駅下車A9出口から徒歩3分
- 東京メトロ東西線・竹橋駅下車 1b出口から徒歩4分

